

科 目
名 体育

普通科・理数科必修
3年・2単位

(1) 自己の状況(体力・得意不得意)に応じた運動の領域・単元・種目を選択して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質・能力を身につけさせる。

目 標 (2) 合理的・計画的な授業の実践を生徒自らが行えるようにさせる。

(3) 健康・安全面の配慮・確保を自他共に実践できる資質を養わせる。

(4) 運動・スポーツに対する意欲・関心を高めるとともに公正・協力・責任・参画の態度を養わせる。

位 置
づ け 各種運動の合理的・計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようとする。また、自己の状況に応じて体力の向上を図り、公正・協力・責任などの態度を育てる。

■使用する教材

現代高等学校保健体育（大修館書店）

■学習する単元とおおよその時期

・体づくり運動、体力テスト【4月】

・選択 A・B (テニス／ソフトボール／サッカー／ゴルフ／バドミントン)

■授業の流れ、予習・復習を含めた学習方法

① 一人の生徒は1年間(4月～12月)に4種目(Aから1つ、Bから1つ、Cから1つ、Dから1つ)を選択する。

・選択 C・D (バレーボール／バスケットボール／卓球／トレーニング・ダンス)

② 選択した種目ごとに班(グループ)を作り、その班ごと(グループごと)に全体の授業計画や毎時間の授業計画を立てる。1年間を見通して幅広く各種の運動を経験し、生涯スポーツにつながるように取り組ませる。

【5～8月】

【9～12月】

■観点別評価について

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A	① 競技のルール・マナー等を理解し遵守することができ、ゲームや発表会などの運営に携わることができる。 ② 練習内容や練習方法を研究し実践できる。	① 単元計画・授業計画に自分の考えを反映させることができ る。 ② やるべき事や徹底事項を自 ら守り、班全体の活動の活性化 に寄与することができる。 ③ 安全に留意した上で活動 ができる。	① 積極的に参加し、自己の言動 が班員に良い影響を与えること ができる。 ② 教える側・教わる側の姿勢が 身についている。③活動・運動に 適したW-U PやC-D OWN を実践することができる。
B	上記①・②について概ねでき る。	上記①・②・③について概ねで きる。	上記①・②・③について概ねで きる。
C	上記が達成できていない	上記が達成できていない	上記が達成できていない
評価の場面	これらの観点を、生徒の個人ノートの内容と自己評価並びに巡回教諭が毎時間評価したものを、総合的に判断する。	これらの観点を、生徒の個人ノートの内容と自己評価並びに巡回教諭が毎時間評価したものを、総合的に判断する。	これらの観点を、生徒の個人ノートの内容と自己評価並びに巡回教諭が毎時間評価したものを、総合的に判断する。

■単元テスト予定表

単元テスト	種目	実施予定	単元テスト	種目	実施予定
1・2	テニス／ソフトボール／サッカー／ゴルフ／バドミントン(2種目)	6月/8月	3・4	バレーボール／バスケットボール／卓球／トレーニング・ダンス(2種目)	10月/12月

